

# 令和5年度 横浜市精神保健福祉審議会 第2回 依存症対策検討部会

日 時 : 令和6年3月1日(金)  
午後5時00分～午後7時00分  
会 場 : 横浜市こころの健康相談センター 会議室  
集合形式・Web会議形式併用による開催

## 《次 第》

- 1 開会
- 2 議題  
部会長及び副部会長の選出について
- 3 報告
  - (1) 令和5年度のこころの健康相談センター等における依存症対策事業実施状況について
  - (2) 令和5年度横浜市依存症関連機関連携会議について
  - (3) 横浜市依存症対策地域支援計画の中間評価について
  - (4) 令和6年度の横浜市依存症対策事業の事業計画について
- 4 その他

### 【配付資料】

- 資料1 委員名簿
- 資料2 令和5年度の横浜市依存症対策事業実施状況について
- 資料3 令和5年度の横浜市依存症関連機関連携会議について

## 依存症対策検討部会 委員名簿

	委員氏名	役職
審議会委員	あまがい とおる 天貝 徹	横浜市医師会常任理事 (あまがいメンタルクリニック院長)
審議会委員	いじま ともし 飯島 倫子	神奈川県弁護士会 横浜あかり法律事務所
審議会委員	いとう ひでゆき 伊東 秀幸	田園調布学園大学 人間科学部心理学科 教授
審議会委員	さえき たかし 佐伯 隆史	医療法人 誠心会 理事長 神奈川病院
審議会委員	はせがわ よしお 長谷川 吉生	神奈川県精神科病院協会 監事 日向台病院 院長
臨時委員	うえはら のりあき 植原 憲明	神奈川県司法書士会 副会長・法務総合事業部長
臨時委員	おおいし まさゆき 大石 雅之	医療法人社団 祐和会 大石クリニック 院長
臨時委員	おかだ みつお 岡田 三男	NPO 法人 横浜ひまわり家族会 理事長
臨時委員	くぼい なおみ 久保井 尚美	NPO法人RDP RDP横浜マネージャー
臨時委員	くりす じろう 栗栖 次郎	一般社団法人 HOPE 代表理事
臨時委員	こばやし おうじ 小林 桜児	地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 神奈川県立精神医療センター副院長兼医 療局長兼臨床研究部長
臨時委員	さいとう つねお 斎藤 庸男	神奈川県精神神経科診療所協会 会長 (さいとうクリニック 院長)
臨時委員	さとう しのみ 佐藤 しのぶ	NFCR ノンファミリー カウンセリングルーム
臨時委員	すだ あきら 須田 顕	横浜市立大学附属市民総合医療センター 精神医療センター部長
臨時委員	なかむら つとむ 中村 努	NPO 法人 ワンデーポート 理事・施設 長
臨時委員	ひえだ りか 稗田 里香	武蔵野大学人間科学部社会福祉学科教授
臨時委員	ひぐち あつこ 樋口 温子	横浜断酒新生会
臨時委員	まつざき たかのぶ 松崎 尊信	独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター精神科 診療部長

令和5年度依存症対策検討部会 事務局名簿

委員氏名	役職
きみわだ たけし 君和田 健	障害福祉保健部長
しらかわ のりひと 白川 教人	担当理事（こころの健康相談センター長）
なかむら ひでお 中村 秀夫	精神保健福祉課長（こころの健康相談センター担当課長兼務）
くぼ ひろき 久保 裕樹	精神保健福祉課担当係長
ささき ゆうこ 佐々木 祐子	こころの健康相談センター依存症等対策担当係長
さかた みずえ 坂田 瑞恵	こころの健康相談センター相談援助係長

こころの健康相談センター等における  
令和5年度の依存症対策事業実施状況について

<こころの健康相談センター及び精神保健福祉課が実施する取組>

実施月	事業・取組 【新規／継続】	取組詳細	対応する 重点施策
5月	ギャンブル等依存症家族向けセミナー	開催日時・場所：5月29日 横浜市技能文化会館 テーマ：家族が知っておきたいギャンブルにハマってしまう理由 講師：朝倉崇文氏（北里大学病院精神神経科医師） 佐藤しのぶ氏（NFCR ノンファミリーカウンセリングルーム 心理カウンセラー） 参加者：28人（ご家族、支援者）	3、4、5
5月～	ギャンブル等依存症相談窓口紹介カードの配布	依存症の簡易チェックリスト、相談窓口などを掲載したカードを配布し、配架を依頼。 配付先：各福祉保健センター、自助G、回復施設等	3
5月	公共交通における動画広告	相談を勧奨する動画を公共交通機関で放映。 車内広告：横浜市営地下鉄ブルーライン、相鉄線 ホームドアビジョン：みなとみらい線 （馬車道駅、元町・中華街駅） 掲示期間：令和5年5月8日～5月21日	1、2、3
5月	・広報よこはま ・横浜市LINE等からの発信	・広報よこはま5月号で、ギャンブル等依存症啓発週間に合わせたセミナーや相談先について案内。 ・横浜市LINE等からのギャンブル等依存症啓発週間についての発信。	1、2、3
6月～	民間支援団体の活動紹介	こころの健康相談センター会議室を民間支援団体の活動を紹介する場として活用。 開催数：4団体7回開催	5
6月	・横浜市LINE等からの発信	8月1日開催する若年層家族向け依存症セミナーの受付開始時期について横浜市LINE等から発信。	3
8月	若年層依存症家族向けセミナー	開催日時・場所：8月1日 横浜市社会福祉センター テーマ：処方薬・市販薬依存 講師：青山久美氏（神奈川県立精神医療センター コ・メディカル部長、依存症診療科医師） 参加者：69人	3、4、5

9～ 10月	スキルアップ研修	<p>&lt;第1回&gt; 開催日時・場所：9月11日 オンライン開催 テーマ：依存症の問題の背景にある個別性への理解 講師：田中剛氏（矢田の丘相談室代表）           中村勉氏（認定NPO法人ワンデーポート施設長） 参加者：91人</p> <p>&lt;第2回&gt; 開催日時・場所：10月4日 オンライン開催 テーマ：家族の回復について 講師：田中剛氏           樋口温子氏（横浜断酒新生会） 参加者：62人</p> <p>&lt;第3回&gt; 開催日時・場所：10月16日 オンライン開催 テーマ：当事者の回復について 講師：田中剛氏           小嶋洋子氏（女性サポートセンター Indah 代表） 参加者：65人</p>	4、5、 6
10月	依存症関連啓発資料の関係機関・団体への発送	<p>主に横浜市内の関係団体・機関・関連部署等へ、こころの健康相談センターで作成している広報物を発送し、実情に応じて配架・配布を依頼。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・依存症って知っていますか？</li> <li>・家族のハンドブック</li> <li>・依存症のお悩みを抱えるあなたへ ほか</li> </ul> <p>456カ所へ8種類計9,427部発送</p>	1、2、 3、4、 6
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜市LINE等からの発信</li> <li>・タウンニュースへの広告掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜市LINE等からのアルコール関連問題啓発週間についての発信。</li> <li>・タウンニュース（11月9日号）にアルコール関連問題啓発週間の広告を掲載。</li> </ul>	1、2、 3
11月	アルコール依存症家族向けセミナーの周知	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜市営地下鉄主要駅に11月6日から11月12日の間、周知ポスターを掲載（あざみの駅、横浜駅、関内駅、上大岡駅、日吉駅、センター南駅、戸塚駅、中山駅）。</li> <li>・タウンニュースにセミナーの記事を掲載。</li> </ul>	3、4、 5

11月	アルコール依存症 家族向けセミナー	開催日時・場所：11月24日 横浜市社会福祉センター テーマ：家族のお酒の問題が心配なあなたへ 講師：湯本洋介氏（久里浜医療センター精神科医長） 参加者：26人	3、4、 5
11月	公共交通における 動画広告	相談を勧奨する動画を公共交通機関で放映。 車内広告：相鉄線、神奈中バス、横浜市営バス 掲示期間：11月1日～11月30日（相鉄線のみ11月 6日～11月12日）	1、2、 3
11月	デジタルサイネー ジにおける動画広 告	相談を勧奨する動画をデジタルサイネージで放映。 掲載場所：横浜駅みなみ通路デジタルサイネージ 掲示期間：11月13日～11月19日	1、2、 3
11月	ゲームに関する啓 発ちらしの作成・ 小中学校での配布 （教育委員会と共 同実施）	家庭でのゲームとの付き合い方を子どもと話し合い、 ルール作りをするきっかけとなること、また、ゲーム による問題がすでに起きている場合に相談につながる ことを目的とした、保護者向けのちらしを作成し、市 立の小中学校で配布。 配布対象：小中学校全学年（今年度から範囲拡大）	1、3
1月	SNS 広告の試行実 施	SNSで依存症に関連するワードをつぶやいた人に対 してこころの健康相談センターを案内するインターネ ット広告を表示する。	3
1月	新たな依存症 パンフレット作成	一般市民向けのパンフレット「依存に悩んでいません か」を作成。依存症の理解に向けた基本知識や相談先 についての情報を掲載。3月下旬より配布予定。	3
2月	リカバリースタッフ 向け研修	開催日時・場所：2月22日 オンライン開催 テーマ：気持ちを引き出す面接テクニック 講師：田中剛氏	5
3月	新たな若年層向け 普及啓発動画の作 成及び公開	主に若年層向けの依存症の正しい理解を促進する普及 啓発動画を制作し、動画サイト等で公開。	1、2、 3

3月	依存症関連啓発資料の関係機関・団体への発送	主に横浜市内の関係団体・機関・関連部署等へ、こころの健康相談センターで作成している広報物を発送し、実情に応じて配架・配布を依頼。 ・依存症って知っていますか？ ・家族のハンドブック ・依存症のお悩みを抱えるあなたへ ほか 494カ所へ11種類計47,268部発送予定	1、2、 3、4、 6
通年	若年層向け普及啓発動画の動画広告	若年層向けの依存症の正しい理解を促進する普及啓発動画をYouTubeインストリーム広告にて配信	1、2、 3
通年	インターネットリディング広告	Yahoo!及びGoogleの検索エンジンでの依存症に関連する単語で検索された際に、こころの健康相談センターを案内するインターネット広告の表示	3
通年	メール相談支援事業	上記広告を活用し、背景に依存症の問題を抱えるハイリスク者を対象としたメール相談を実施	3
通年	家族等向け支援紹介動画の公開	家族等向け支援紹介動画のインターネット上及び市役所庁舎等での公開	1、2、 3
通年	依存症セルフチェックウェブページの公開	Web上で依存症の簡易スクリーニングテストができるページを公開。 依存対象：アルコール(AUDIT)、薬物(DAST-20)、ギャンブル等(SOGS)、インターネット(IAT)	3
通年	減酒外来におけるアルコール依存症の早期発見・早期継続支援及び普及啓発事業	横浜市立大学への委託事業で、市民総合医療センター内の減酒外来において、以下の取組を実施。 (1) 専門職員を配置し、通院患者・入院患者のアセスメント、依存症治療・支援へのつなぎ (2) 民間団体との連携及び支援情報の収集と整理 (3) 地域の医療機関の医療従事者向けに専門的な医療の知見を活かした研修、一般市民及び依存症者の家族等向けの普及啓発	1、2、 3、4、 5
通年	家族教室	月1回こころの健康相談センター会議室で実施。 (5月、8月、11月は公開セミナーを実施) 医療機関、民間支援団体等からの講師による講義・体験談、クラフト。回復施設等のスタッフもアドバイザーとして毎回参加。 延べ参加者：92人(2月時点)	5
通年	回復プログラム	全8回×2クールをこころの健康相談センター会議室で実施。延べ41人(2月時点) 回復施設等のスタッフもアドバイザーとして毎回参加。	5

通年	専門相談	<p>専門相談員による電話・面接での相談 4月～1月分（速報値）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主たる依存対象</th> <th>延べ件数</th> <th>(参考)R4計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルコール</td> <td>380</td> <td>493</td> </tr> <tr> <td>薬物</td> <td>155</td> <td>163</td> </tr> <tr> <td>ギャンブル等</td> <td>176</td> <td>244</td> </tr> <tr> <td>ゲーム</td> <td>50</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>188</td> <td>238</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>949</td> <td>1202</td> </tr> </tbody> </table>	主たる依存対象	延べ件数	(参考)R4計	アルコール	380	493	薬物	155	163	ギャンブル等	176	244	ゲーム	50	64	その他	188	238	合計	949	1202	5
		主たる依存対象	延べ件数	(参考)R4計																				
		アルコール	380	493																				
		薬物	155	163																				
		ギャンブル等	176	244																				
		ゲーム	50	64																				
		その他	188	238																				
		合計	949	1202																				
随時	連携会議	<p>&lt;第1回&gt; 開催日時・場所：8月29日 神奈川県中小企業共済会館 テーマ：横浜市依存症関連機関連携会議の活動計画等について 有識者：小林桜児氏（神奈川県立精神医療センター副院長兼医療局長） 松崎尊信氏（久里浜医療センター精神科診療部長） 参加機関：48 機関</p>	4、5、6																					
		<p>&lt;第2回&gt; 開催日時・場所：1月30日 横浜市こころの健康相談センター テーマ：行動依存の方への支援やつなぎ先を考える 有識者：松崎尊信氏 参加機関：16 機関</p>																						
		<p>&lt;第3回&gt; 開催日時・場所：1月31日 横浜市こころの健康相談センター テーマ：物質依存の方への支援やつなぎ先を考える 有識者：小林桜児氏 参加機関：20 機関</p>																						
その他	民間支援団体補助金	<p>民間支援団体の活動を支援するため、団体が実施するミーティングや普及啓発、相談活動等の事業への補助金を交付 交付決定数：7団体 12 事業 (令和4年度：6団体 11 事業)</p>	5																					



## 令和 5 年度 横浜市依存症関連機関連携会議について（報告）

### 1 横浜市依存症関連機関連携会議について

こころの健康相談センターでは、依存症対策事業の連携強化への取組の一つとして、令和 2 年度から依存症関連機関連携会議（以下、「連携会議」という）を開催しています。

今年度は全体会 1 回、テーマ別 2 回の合計 3 回開催しました。全体会では「最近の相談傾向や依存症支援の変化」など、テーマ別では「依存対象別（物質依存・行動依存）に関連する取組状況」などについて意見交換しました。

### 2 令和 5 年度 第 1 回連携会議（全体会）の実施報告について

#### (1) 日程・開催形式

令和 5 年 8 月 29 日（火）午後 3 時から午後 5 時まで 集合及び WEB 併用

#### (2) 議題

横浜市依存症関連機関の活動計画等について

#### (3) 主な意見等

最近の相談傾向や各機関の取組状況などについて意見交換

##### 【普及啓発】

- ・本人も家族もいっばいいいばいで、周りが見えていない状況の場合が多い。本人や家族、周囲にいる人に届くよう、依存症の知識がない人でもわかりやすい啓発をしてほしい。
- ・今後は潜在的な依存症の問題を抱えている人と出会いやすいところとタイアップして、より効果的に広報することが求められる。

##### 【相談傾向・取組等の状況】

- ・患者・相談者は若年化しているが、アルコールの専門医療機関や回復施設では中高年・高齢者の相談や出口支援が難しいケースも増えている。啓発の効果か、早期に受診する人も増加傾向にある。
- ・借金から闇金、闇金から闇バイト、マルチ商法、新たな金融の問題などの複雑な借金問題や、「依存症の相談なのか？」といった内容の相談が増えている。
- ・若年層は、依存症よりも思春期問題と捉えた方が支援を受けやすい傾向もある。
- ・身近な支援機関でも、成育歴や家庭状態を聴き取り、必要な支援につなぐことが求められる。また、複数の機関が関わっている場合、互いの考えを聞くことも連携につながる。

##### 【啓発週間等での取組】

令和 6 年度は、市庁舎展示スペースの利用予約ができた時に依存症パネル展を実施し、各機関・団体にも活動を紹介する配架物を揃えていただき一緒に啓発したい。

##### 【横浜市依存症関連機関一覧の作成】

- ・依存症関連機関一覧は、市民向けと支援者向けの 2 種類あると活用しやすい。
- ・市民向けは見やすくわかりやすいデザイン、支援者向けは詳細な情報を載せてほしい。

#### 【第1回連携会議のまとめ】

- ・相談者の若年化や借金問題の拡大など、これまでとは困り感が異なる層に移行しつつある中で、依存症支援の従来の手法や経験のみでは対応し切れない相談も増えている。
- ・依存症が多様化・複雑化しており、自機関のみで対応するのは困難となっており、今後ますます連携会議等を通じた密な連携が求められている。そのため、現状の連携会議の参加機関に、関連する機関をどのように巻き込んでいくかなどの検討が必要となってきた。

### 3 令和5年度 第2・3回連携会議（テーマ別）の実施報告について（速報）

#### (1) 日程・開催形式

■第2回：令和6年1月30日（火）午後3時から午後5時まで 集合及びWEB 併用

■第3回：令和6年1月31日（水）午後3時から午後5時まで 集合及びWEB 併用

#### (2) 議題

■第2回：「行動依存を抱えている人への支援やつなぎ先等を考える」

（有識者）久里浜医療センター 松崎尊信 先生

■第3回：「物質依存を抱えている人への支援やつなぎ先等を考える」

（有識者）神奈川県立精神医療センター 小林桜児 先生

#### (1) 主な意見等

##### 【第2回】

- ・コロナ禍以降、オンラインギャンブル、FX等に関する相談が増加している。
- ・犯罪や多額な借金問題など自機関では対応が難しい相談内容もあり、弁護士など専門家と相談しながら対応している。
- ・ギャンブル依存は男性が圧倒的に多いため、女性を対象とした支援の提供は課題になる。
- ・ホストやアイドルなど人への依存や買い物等、複数の依存行動があるケース、発達障害や精神疾患が背景にあるケースもあり、支援する内容も幅広くなっている。
- ・表面上の依存行動の課題だけでなく背景に様々な生きづらさが混在していて、適したつなぎ先が見つかりにくいケースもあり、仕組みや制度からこぼれ落ちないように、どのように支えていくかが課題となる。

##### 【第3回】

- ・高齢者のアルコール依存は、生活の困りごとや介護に関する内容から相談につながる場合もある。依存症の治療やプログラムへの適応は困難なことが想定される。近隣の高齢者施設や就業継続の施設など、地域で連携して支援しているケースもある。
- ・身近な支援者（医療職やスクールカウンセラーなど）も、依存症支援の知識をもつことが求められる。それぞれが集まる機会や場を活用して学習することも必要ではないか。
- ・若年者の薬物依存（大麻、市販薬・処方薬）の相談が増え、年々低年齢化している。
- ・子の親、さらにその親も依存行動や生活面の課題があり、依存が連鎖しているケースもある。子どもの頃から自分自身の心と体を大切にする教育、居場所づくり、依存しなくてもよくなるよう日常生活の充実感への支援が必要になる。

### 【第2回・3回のまとめ】

- ・相談内容が複雑かつ多様化しており、当事者と支援者だけでなく、支援者同士もつながりをつくりそれぞれの専門性や役割分担をしながら協力して支援していくことが必要である。
- ・子どもや高齢者等の場合、通常の依存症治療やプログラムより、居場所づくりや日常生活の充実に向けた支援などが優先されるケースもある。
- ・若年層を中心に、自分の感情に気づいたり言葉で伝えることが困難でグループに馴染めず、まずは一对一の関係から始まるケースも増えている。

## 4 次年度の連携会議について

- ・令和6年度も継続して連携会議を開催します。引き続き現場の意見を丁寧に伺いながら、参加機関・団体とのネットワークの構築を図っていきます。
- ・開催にあたっては、内容に応じて形態を工夫しながら開催していきます。
- ・依存症関連機関一覧の作成や啓発週間の取り組みを通じ、依存症の理解に向けた普及啓発活動に取り組んでいきます。

## 5 令和5年度 横浜市依存症関連機関連携会議 参加機関・団体一覧

		団体名等
1	有識者	地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立精神医療センター
2	有識者	独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター
3	自助グループ	AA 横浜地区メッセージ委員会
4	自助グループ	横浜断酒新生会
5	家族会	横浜断酒新生会（家族会員）
6	自助グループ	ナルコティクスアノニマス 南関東エリア
7	自助グループ	ナラノン・ファミリー・グループ ジャパンNSO
8	家族会	NPO 法人横浜ひまわり家族会
9	自助グループ	GA（日本インフォメーション）
10	自助グループ	ギャマノン
11	家族会	全国ギャンブル依存症家族の会 神奈川
12	自助グループ	あざみ野ファミリー12ステップ
13	専門医療機関	地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立精神医療センター
14	専門医療機関	医療法人誠心会神奈川病院
15	専門医療機関	医療法人社団祐和会 大石クリニック
16	医療機関	公立大学法人横浜市立大学附属 市民総合医療センター
17	医療機関	横浜市立市民病院 神経精神科
18	回復支援施設	NPO 法人 RDP RDP 横浜
19	回復支援施設	NPO 法人あんだんて 女性サポートセンターIndah(インダー)
20	回復支援施設	NPO 法人ギャンブル依存ファミリーセンターホープヒル
21	回復支援施設	NPO 法人市民の会 寿アルク
22	回復支援施設	NPO 法人ステラポラリス
23	回復支援施設	ダルク ウィリングハウス
24	回復支援施設	日本ダルク神奈川

25	回復支援施設	NPO 法人ヌジュミ デイケアセンターぬじゅみ
26	回復支援施設	NPO 法人 BB 横浜市地域活動支援センターBB
27	回復支援施設	一般社団法人ブルースター横浜
28	回復支援施設	一般社団法人 HOPE
29	回復支援施設	NPO 法人横浜依存症回復擁護ネットワーク 横浜リカバリーコミュニティー
30	回復支援施設	NPO 法人横浜ダルク・ケア・センター
31	回復支援施設	NPO 法人横浜マック 横浜マックデイケアセンター
32	回復支援施設	株式会社わくわくワーク大石
33	回復支援施設	認定 NPO 法人ワンデーポート
34	関連機関	NPO 法人のびの会
35	支援機関	社会福祉法人同愛会地域活動ホームくさぶえ 都筑区基幹相談支援センター
36	支援機関	社会福祉法人神奈川県匡済会 横浜市踊場地域ケアプラザ
37	支援機関	公益社団法人総合保健医療財団 横浜市港北区生活支援センター
38	支援機関	社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団 横浜市高次脳機能障害支援センター
39	支援機関	社会福祉法人横浜やまびこの里 横浜市発達障害者支援センター
40	行政機関	法務省 横浜保護観察所
41	行政機関	横浜市港南区福祉保健センター高齢・障害支援課 高齢者支援担当
42	行政機関	横浜市泉区福祉保健センターこども家庭支援課
43	行政機関	横浜市旭区福祉保健センターこども家庭支援課
44	行政機関	横浜市都筑区福祉保健センター高齢・障害支援課 障害支援担当
45	行政機関	横浜市鶴見区福祉保健センター高齢・障害支援課 障害者支援担当
46	行政機関	横浜市健康福祉局生活支援課
47	行政機関	横浜市中区福祉保健センター生活支援課
48	行政機関	横浜市南部児童相談所